

次世代中医学を目指して：我々は何をすべきなのか？

中医学関連文献・書籍 アーカイブの提案

吉富 誠

公立栲原病院

中医学を学習・研究するにあたって、『黄帝内経』をはじめとした古典文献・基礎理論診断学テキスト・臨床各論テキストなど蒐集する必要があります。私もこの道を志して以来、多くの書籍を蒐集してきました。皆様もそうだと思いますが、書籍の置き場所に困るようになってきました。将来のことを考えると、この書籍をどうするかも考えないといけない年齢になってきました。残念ながら今のところ、すばらしいアイデアを持ち合わせてはいませんが、蒐集した書籍や文献を次の世代に引きつぐうまい仕組みがあったらいいなと思う次第です。お隣の韓国には国立の韓医学研究所があり、文献蒐集やデータベース化を行っています。

ところで2019年10月に私が中医学の手ほどきを受けた牟田光一郎先生がお亡くなりになりました。1989年に『校釈諸病源候論』（緑書房）を出版されて以降より『景岳全書』の翻訳を手がけられていました。30年余りかけて完成したお仕事でしたが、残念ながら出版に至っていません。晩年、私に原稿を託されて、中医学研究者の役にたつようにして欲しいとのことでした。アーカイブの先駆けとして、牟田光一郎先生の『景岳全書』をPDF化して中医学会のホームページ上で閲覧できたらと考えています。PDF化はおおよそ終わり、利用しやすいように目次をつける作業などを行っているところです。公開後は皆様にご利用いただきたいと存じます。